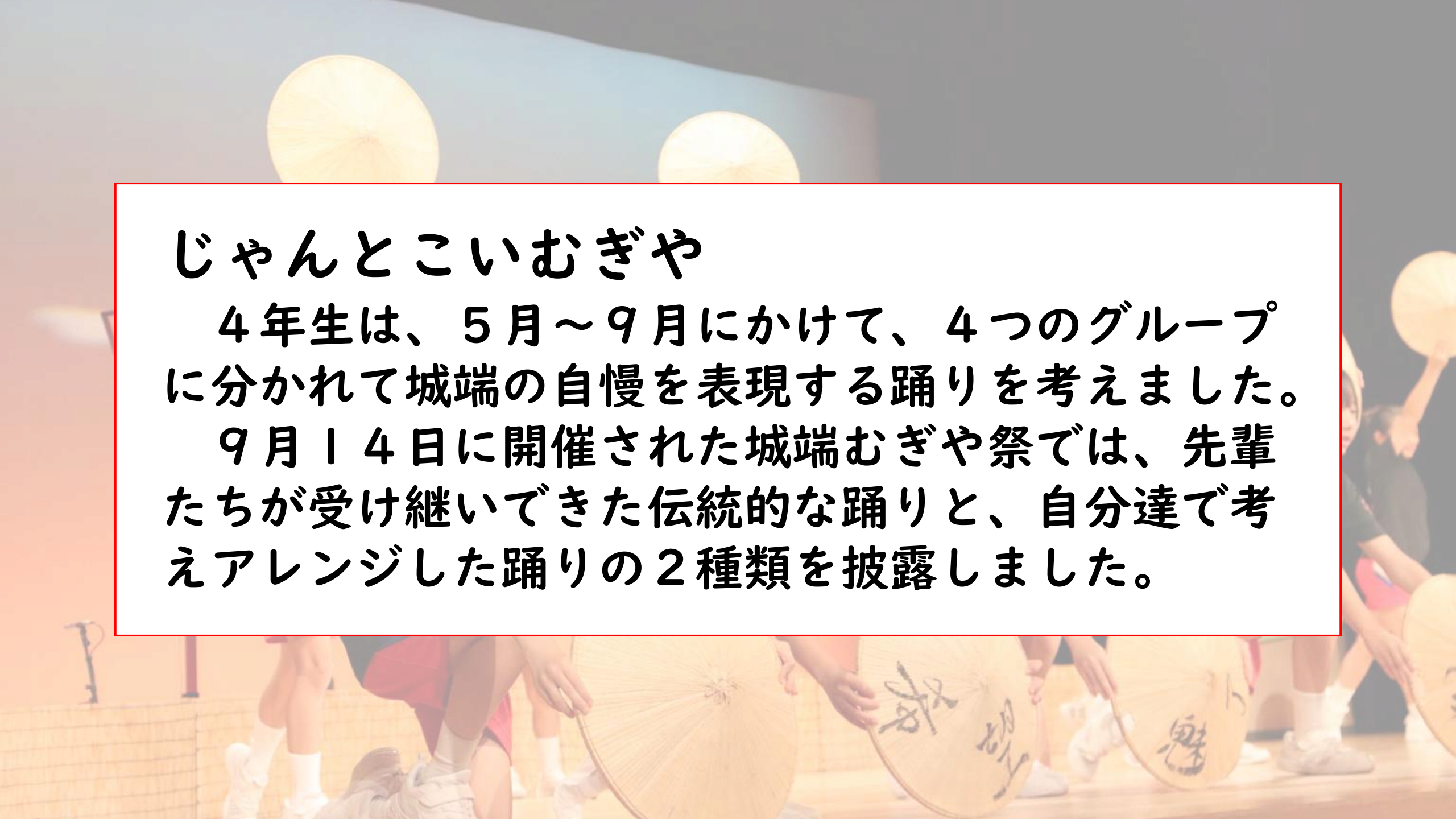


じゃんとこいむぎや

4年生は、5月～9月にかけて、4つのグループに分かれて城端の自慢を表現する踊りを考えました。

9月14日に開催された城端むぎや祭では、先輩たちが受け継いできた伝統的な踊りと、自分達で考えアレンジした踊りの2種類を披露しました。



グループ分け

それぞれが伝えたい城端の自慢を考え、「桜」「曳山」「ギフチョウ」「むぎや」のグループに分けられました。



曳山の迫力のある部分を最後に全員で揃えたいな



桜が満開に咲いている様子を表現したいな

ギフチョウが力強く
羽ばたいているところ
を表現したいな



むぎや祭だから、伝
統的な笠の回し方を
したいね



5年生のお話

昨年じゃんとこいむぎやを踊っていた5年生から、
どんな思いでじゃんとこいに臨んでいたのか、また
どのようなことを地域の方に伝えたいのかについて
学びました。



ゲストティーチャーのお話

城端むぎや祭の歴史についてお話を聞きました。

子供たちは、むぎや節が城端に来て100年だという伝統を受け止め、
じゃんとこいむぎやを来年に繋いでいくためにも一生懸命踊りきると
いう気持ちを高めました。



むぎや祭当日 善徳寺

むぎや祭の本番では、善徳寺と善徳寺前交差点で
じゃんとこいむぎやを披露しました。
今までの集大成として一生懸命踊りました。



善徳寺前交差点



緊張したけど笑顔で踊り
きることができたよ！



4つのアレンジした部
分を揃えて踊ることが
できたよ。

